



国士舘大学



成長した学生から学ぶ、
有意義な大学生活を過ごす

3つのコツ

2022/10/29 第9回FD研修会より



取材で見えてきた 成長のための3つのコツ

2022年10月29日に実施した教職員向けFD(教育内容・方法等をはじめとする研究や研修)にて、登壇してくれた3名の学生に、大学生活で自分自身を成長させるコツを追加で取材しました。

※3名の学生は、ジェネリックスキル測定PROG(1年次・3年次実施)で著しい伸長の3名を選出しています。

※PROG(プログ)について：河合塾・リアセック社で共同開発。2012年にリリースし、学生の社会から求められるジェネリックスキルを測定。測定レベルは7段階で、大学生平均は3~4。4以上は社会で期待されるレベル。

PROG(プログ)とは

学校法人河合塾と株式会社リアセックが共同開発した社会で求められる汎用的な能力を測定するアセスメント・テストです(毎年約300校で導入)。

本学では、このアセスメント・テストを導入することで、学生の成長を可視化し、教育改善に活かすことを目的としています。また、1年次には自分の強みや苦手を理解し、大学生活を有意義に過ごすことを考えさせ、3年次には1年次からの自己成長を振り返り、就職活動に役立てることを目的としています。

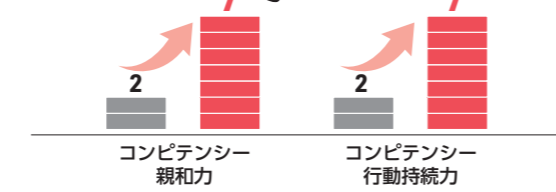


リテラシー 問題解決のために思考する力

領域	構成要素
問題解決のプロセスに求められる思考力	情報収集力 幅広い視点から適切な情報源を見定め、適切な手段を用いて情報を収集・調査し、それらを適切に整理・保存する力
	情報分析力 事実・情報を思い込みや臆測でなく客観的にかつ多角的に整理・分析し、それらを統合した隠れた構造を捉え、本質を見極める力(言語・非言語処理能力含む)
	課題発見力 様々な角度と広い視野から現象や事象を捉え、背景に隠れているメカニズムや原因について考察し、解決すべき課題を発見する力
	構想力 様々な条件や制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構想し、その過程で想定されるリスクや対処方法を構想する力

コンピテンシー 問題解決のために行動する力

領域	構成要素
対人基礎力 他の人と信頼を築き、チームとして動かす力	親和力(人に興味を持ち、共感・信頼する力)
	協働力(役割を理解し、相互に助け合う力)
	統率力(意見を主張し、チームを高める力)
對自己基礎力 自分の感情ややる気をコントロールする力	感情制御力(自分の感情を適切に制御する力)
	自信創出力(自分を知り、自信を引き出す力)
	行動持続力(主体的に取り組み、完遂する力)
対課題基礎力 課題解決に向けた行動を考え、起こす力	課題発見力(情報を集め、本質に迫る力)
	計画立案力(目標を設定し、計画を立てる力)
	実践力(考えを行動に移し、振り返る力)



先輩から学ぶコツ！
どんな大人になりたいか
ロールモデルを見つける！

ロールモデルから学び、 困難にも積極的に取り組むことが 成長の秘訣

理工学部理工学科3年 R.Kさん(男性)

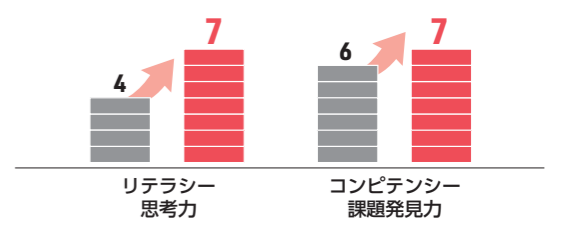
私が成長するための秘訣は、「ロールモデルを見つけて、見通しが立たないことでも、意欲的に取り組む」ことです。母が経営する会社に触れる中で、仕事に対する多くの話を聞いてきました。そのパワフルさには多くの学びがあり、将来的に何事にも積極的に進める姿勢が芽生えました。

大学での学びも、6名のグループメンバーと共に、15回の授業でロボットカーを作る実践的な授業に参加しました。この授業では、理論だけでなく実際に「ものづくり」を通して学ぶことができました。グループメンバーには、積極的な学生もいれば消極的な学生もいましたが、チームの活性化のためにはどのように進めていくか、良い作品を作るためにはどのような工夫をするか等、メンバーと話し合いながら完成まで取り組むことができました。このように、何事にも意欲的に取り組むことが自分の成長につながると感じています。

正課内外での多様な経験が 私の成長の秘訣

文学部教育学科3年 G.Mさん(女性)

私の成長の秘訣は、「正課内外を問わず様々な経験をする」ことです。小学校の頃から、教師になりたいと思い、教育学科に進学しました。授業は異なる学部学科の人々とグループを組み、毎回新しい人たちと先生が出した課題について話し合う形式で行われました。最初は嫌だと思っていたものの、様々な性格や考え方を持つ人々と関わり、自主性と主体性を持ち、未知のことにもチャレンジする気持ちを育てることができました。授業を通して、理想的な教師像を明確化し、仲間と協力して問題を解決することができるように成長しました。正課外では小学校と特別支援学校でボランティアを行い、家庭教師のアルバイトもしました。学校現場の子どもたちの実態を含め、答えの無い課題に対してどのように進めていこうかを常に考える経験をしました。ボランティアでは、先輩教員の指導を見ることで、教師に対するイメージをより具体的に持つことができ、経験を高めることができました。マルチタスクで忙しかつたのですが、しっかりと計画を立てて進めることで多様な経験ができたことは、確実に自信につながっています。



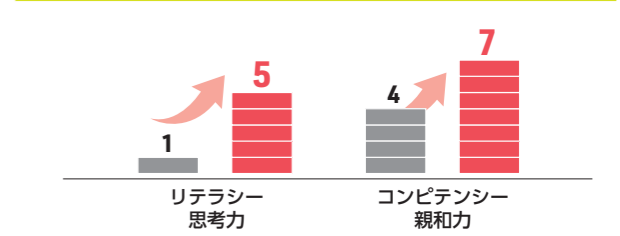
先輩から学ぶコツ！
大学の授業含め、正課外の
活動も成長のチャンス！

難しい専門用語も、 具体例や受講生の多様な意見を 聴くことで思考の幅が広がった

法学部現代ビジネス法学科3年 S.Kさん(男性)

私が感じる成長のコツは、「多様なメンバーの意見を聞くことで、新しい見方や考え方を学ぶ」ことです。例えば、専門的な刑法の言葉が複雑で理解に苦しみましたが、先生が具体例を用いて学説を説明してくださったおかげで、頭にイメージしながら学ぶことができました。また、受講生の意見を聴くことで、自分の思考が広がり、新しい考え方を学ぶことができました。抽象的なことでも、具体例を交えることで理解を深めることができると実感し、その後の授業でも役立っています。

多様な人々と交流し、思考の幅を広げることは、成長する上で大切なことです。常に新しい刺激を受け、自分の思考を広げながら成長していきたいと考えています。



先輩から学ぶコツ！
意見交換は思考を広げる
重要な手段！